

Q 福垣内議員
図書館の運営計画について問う。

A 住民との繋がりを第一に考えていく。
(西原教育長)

Q 平成17年度の夏にオープンする図書館は、人のつながりが希薄化している現在に、大きな役割を果たすものと期待しているが、その運営計画はどうなっているか。

A 平成17年7月才オープンを目指して現在諸準備を行っている町立図書館は、収蔵図書7万5千冊、幼児が本に親しむ機会を提供できるスペース、対面朗読室などを備えている。その運営については、図書館と住民との結びつきを強めるために多くのボランティアと共同して事業を進めていく。

Q 大瀬戸議員
公民館の祝日開放の可能性は。

A 利用状況を考慮し検討する。
(藤森生涯学習課長)

Q 町民会館及び各公民館は、現在祝日は閉館となっている。町民のニーズは土曜日曜に集中していると聞か、祝日も開放を検討してどうか。あわせて休日と平日の利用状況の公表を求める。

A 平成15年度1年間の利用状況を調査したところ、概ね土曜日が平日に比較して利用が少なく、さらに日曜日はその半分程度である。祝日開館要望は現在のところ把握していないが、多数の希望があれば開館の検討をしていきたい。しかしながら、自治体の財政状況も厳しいことから、費用対効果の検証や受益者負担について十分に検討するべきだと考えている。

Q 大瀬戸議員
深原地区公園へクロスカントリーコースを。

A 必要性は十分認識しているが…。
(立花教育部長)



Q 生涯スポーツの中でも、特に駅伝は子どもから大人まで広く町民に愛されている。子ども会や各小中学校、熊野高校と活発な取り組みとそのレベルも高いものがある。それぞれの練習では、今はグラウンドが一般道しかなく、故障や事故の危険性にさらされている。深原地区に総合的な公園が建設中であるが、その周囲にアスファルトではないクロスカントリーコースを設置できないか。

A 駅伝などの練習の場として、故障や事故を防ぐための環境整備が必要なのは十分認識しているが、この度建設中の公園内には現在のところクロスカントリーコースの整備は予定していない。今後は小・中・高校生を指導する各指導者の意見を参考にしながら、山積みしている事業の中でどのように位置付けるかも含めて検討する。